



# 平成二十一年夏巡業 大相撲八幡平場所







↑幕内力士による華やかな土俵入りを披露

←横綱同士の取り組みで、場内は盛り上がります

八幡平市で初となる大相撲夏巡業・八幡平場所は8月15日、市総合運動公園体育館で開かれ、約2千人の相撲ファンが詰め掛けました。

巡業に参加するため、前日に市内入りした力士や関係者の一部に、新型インフルエンザ患者が発生。これを受けて当日は、来場者やスタッフにマスクを配布するとともに、手指を消毒するなど、十分な対策を行ってからの入場となりました。

午前8時の開場とともに力士の公開稽古を一目見ようと心待ちにしていた人で、場内はあふれかえります。来場者は、力士が土俵上で熱のこもった申し合い稽古などで汗を流す様子に釘付け。横綱や大関など、普段はテレビで見ることのない人気力士が稽古に姿を見せると、会場内からひととき大きな歓声が上がりました。

全力士が一汗流すと、いよいよ序二段から取り組みがスタート。来場者は、国技館などで行われる本場所さながらの本格的な大相撲の迫力に圧倒されます。また当日は、終戦記念日ということもあり、正午に力士と来場者全員で黙とうを行いました。

続く初つ切りでは、ユーモアたっぷりにコント仕立てで相撲の禁じ手などを紹介。テレビの相撲中継などで聞かれる、やぐら太鼓の打ち分けや、名人床山による力士の髪結い実演など、地方巡業ならではのプログラムも行われ、訪れた人から大きな拍手が送られました。

また、会場内では県出身力士として活躍した元小結・栃乃花の二十山親方や横綱・朝青龍関などの力士が、子どもや相撲ファンの求めに応じて色紙や座布団などに快くサインをしていました。

巡業の最後を飾るのは、もちろん白鵬関、朝青龍関の両横綱による取り組み。大相撲を代表する両雄の対決は、白鵬関に軍配が上がり、八幡平場所の千秋楽となりました。

大相撲を初めて観戦したという吉田皇くん(田頭小5年)は「テレビで見るとより、力士の背が大きくてびっくりしました。相手が自分より大きいです」と目を輝かせていました。



←最後は伝統の弓取式が行われ、八幡平場所の打ち出しです



↑二十山親方のサインをもらおうと列を作る大勢の相撲ファン

←上位陣の取り組みには、本場所さながらに懸賞金も掛けられます



# 結婚したい 男女の出会いを 市がお手伝い

後継者育成対策の一環として市は7月28日、結婚したい男女の出会いを応援する八幡平市後継者育成支援推進協議会を設置しました。

委員として下の表に示した16人を委嘱。地域や団体の世話役として、情報収集や出会い支援事業の推進・実施。参加を希望する人への啓発などのほか、後継者問題についての提言や相談などを行います。なお、相談業務については地域の民生児童委員にも協力を依頼しています。

参加は登録制で、市福祉部地域福祉課に備え付けの申請書で申し込みください。個人情報などは市が適切に管理し、秘密は守られます。

## 男女に出会いの場を提供する活動に補助

市は、男女の出会いを支援する団体の活動を予算の範囲内で次のとおり補助します。

■補助対象 ①市内に居住または勤務する人で組織する団体、②団体の代表者が20歳以上

## ●表 八幡平市後継者育成支援推進協議会委員

◎会長 戸張 昇(松尾)	○副会長 遠藤一子(西根)	委員 中軽米幸雄(松尾)	委員 佐々木幸雄(松尾)
委員 田村信悦(西根)	委員 鈴木志賀子(西根)	委員 斎藤 学(西根)	委員 伊藤繁夫(松尾)
委員 田村征男(西根)	委員 日時嘉一郎(安代)	委員 武田初太郎(西根)	委員 伊藤正光(西根)
委員 田村勲太郎(松尾)	委員 立花徳彦(安代)	委員 本宮武彦(安代)	委員 工藤明弘(安代)

■対象事業 ①自身の男女が出会う交流会などの企画・実施 ②交流会の開催後も継続的に情報提供や個別相談などの支援があること、③営利目的でないこと、④他の補助制度の対象ではないこと

■補助金額 20万円を上限に事業経費から会費などの収入を差し引いた額

■提出書類など 事業計画書、収支予算書、団体調書

詳しくは、市福祉部地域福祉課 ☎76-21111、内線1165)まで。

## ●表 一時保育を受け付ける施設

	名称	年齢	電話番号
私立	東慈寺保育園	1歳～	76-3236
	森の子保育園	0歳～	70-1880
	杉の子保育園	3歳～	76-3345
	平館保育園	0歳～	74-2025
公立	大更保育所	2歳～	76-3526
	寺田保育所	2歳～	77-2328
	松野保育所	2歳～	74-2715
	寄木保育所	2歳～	76-2020
	柏台保育所	2歳～	78-2002
	あしる保育所	2歳～	72-2431
	田山保育所	2歳～	73-2155
	あしる保育所畑分園	3歳～	72-5511

事前に、左の表に掲げた施設のうち利用を希望したい保育所(園)に直接電話で申し込み

### 申し込みはどこに？

詳しくは、市生活福祉部児童福祉課(☎76-21111、内線1174)まで。

保護者の通院や冠婚葬祭など、一時的に子育てが困難になる場合です。また、育てている子どもの数が多いなどの理由による育児疲れの場合も利用できます。

### 利用できる条件は？

市は、普段、保育所(園)に入所していない子どものため「一時保育」が利用できる保育所(園)を設置しています。

### 利用料金はいくらくら？

公立保育所については、いずれも日額で、2歳児2000円、3歳児1500円、4・5歳児1000円です。私立保育園は年齢や時間によって違いがありますので、保育園に直接申し込みください。

保育所に入っていない子どもを一時的に保育します

市は、普段、保育所(園)に入所していない子どものため「一時保育」が利用できる保育所(園)を設置しています。事前に面接を行う場合があります。



田頭・平館・安代  
3小学校の児童たち

## 東北学童相撲大会 出場へ意気込み示す



田村市長の前で意気込みを語る児童たち

崇志君、3位入賞した安代小の斉藤優也君、畠山圭太君(いずれも6年)の6人。  
田頭小の米田君は「東北大会は大将として出場するので、できるだけ勝てるよう練習する」、平館小の小林君は「2度目の東北大会出場なので、前回の成績を上回るようがんばる」、安代小の斉藤君は「自分らしい元気な相撲を取れるようがんばる」と東北大会への意気込みを聞かせてくれました。田村市長は「いい試合ができるようがんばってください」と激励しました。

東北学童相撲大会に出場する田頭小学校(菊池忠雄校長、児童135人)、平館小学校(松村秀二校長、児童149人)、安代小学校(坂東肖子校長、児童151人)の児童は8月11日、市役所を訪問し、田村正彦市長に決意を述べました。  
市役所を訪れたのは、知事杯争奪県下学童相撲大会で団体優勝した田頭小の米田一椰君、吉田裕一君、準優勝した平館小の小林蓮君、松村



東北大会に出場する吹奏楽部の皆さん

西根中学校(佐藤嘉彦校長、生徒361人)の吹奏楽部は、全日本吹奏楽コンクール岩手県大会に出場し、4年連続の金賞を受賞。東北大会への出場権を獲得しました。  
48人の部員をまとめる部長の高橋遥香さん(3年)は、4年連続の金賞と東北大会出場を目標にがんばってきた。すごいプレッシャーだった分、とてもうれしかった。東北大会では、西根中でも初の金賞獲得と全国大会出場を目指してがんばりたい」と決意を聞かせてくれました。

吹奏楽と馬術

## 西根中生徒が大活躍



3位の盾を手に笑顔の千田真紀さん

山梨県で開催された第33回全日本ジュニア障害馬術大会チルドレンライダー(10〜16歳)選手権に出場した千田真紀さん(西根中3年)は、フォトジェニック号に騎乗し、見事3位入賞しました。  
9人が減点0点という中、3位の好タイムでゴールした千田さん。初めての全国大会での3位入賞に千田さんは「3位になるなんて想像もしていなかった。自分の力を全部出し切ることだけ考えていた。本当にうれしい」と喜びの声を聞かせてくれました。



集まった募金を田村市長に手渡す工藤会長⑥

## 八幡平ふるさと会 募金を呼びかけ市に寄付

八幡平ふるさと会(工藤修会長)は8月12日、ことしのふるさと会の集いで集めた募金を市に寄付しました。  
市役所を訪問した工藤会長は「子育て支援などに役立ててください」と田村正彦市長に手渡しました。  
これは、6月7日に東京都で開かれた八幡平ふるさと会の集いで参加者に募金を呼び掛けたもので、226人から総額11万8000円が市に寄付されました。